抜き打ち調査実施報告書

法人名 施設名	社会福祉法人生活クラブ風の村 生活クラブ風の村特養ホームハ街
実施日 時　間	開始　　2021 年　11 月 12 日（金）　1 時 05 分 終了　　2021 年　11 月 12 日（金）　9 時 30 分
評価者名	是枝祥子　本間郁子　（2 名）

※結果（運営基準の順守）

抜き打ち調査の職員の対応	1：05にインターフォンを押すと宿直職員が対応した。抜き打ち調査実施書を手渡し、評価者証を提示した。打ち合わせの後、1 時 15 分から調査を開始した。

夜勤者数	11 ユニット（＋ショートステイ１ユニット） 定員96 名で夜勤者6名　（ショートステイ 17 名の夜勤者含む）（運営基準は6名。重要事項説明書通り）
拘束の有無 コールの位置	全居室（自室から鍵をかけている人以外）を確認した結果、拘束は無し。 コールの位置はすべて適切。コールが見えない、ベッドから離れているところはすべて職員に確認し適切と判断した。
プライバシーの確保	全居室ドアが閉まっており、プライバシーが守られ、排泄介助も適切であった。
不適切な対応	無し。 夜間、ほとんどの方が安心して休まれている様子を伺うことができた。ユニットによってはコールが頻回に鳴る時間帯もあったが、その後は穏やかな時間が過ぎた。不適切な状況は見受けられなかった。

【新型コロナ感染対応が継続される中での調査について】
　抜き打ち調査の実施時期については、新型コロナ感染拡大で終息が見えず、実施できる条件が整い次第実施することになっていました。今年 10 月から感染者数が減少し、緊急事態宣言やまん延防止宣言が解除されたため実施に至りました。
　今回の抜き打ち調査は、約 1 年半にわたり職員は感染防止のために、優先的に多くの労力と時間をかけて対策に取り組んでいるため、人権にかかわる「拘束の有無」「コールの位置が適切」「不適切ケアの有無」、感染防止の対応として「換気の状況」などの確認に限り評価をしました。今回、居住環境などは評価の対象にはしませんでした。

【特記】

　新型コロナの影響で八街着は予定どおりでしたが、駅から施設までのアクセスに時間がかかり施設に到着する時間がいつもより遅くなりました。
　インターフォンを数回押すと、宿直の職員が対応してくれました。玄関では、身分証明書の提示を行い、「抜き打ち調査実施書」を手渡した後、職員は相談室に荷物など置く場所として案内してくれました。
　評価者 2 人は打ち合わせ後、調査に入りました。

　夜勤者 1 人に「生活クラブ風の村」の理念、基本方針を尋ねると明確に答えることができました。

　現在、大規模修繕工事中で中廊下が使用できない、さらに、入居者の居室の洗面台の水道、配管工事などが続いており、職員は不便を感じながらも利用者支援をしっかり行っていました。新型コロナ対応に加えて負担の大きい状況となっていました。
　夜勤職員は入居者に対して、丁寧に対応していました。拘束ゼロ、それぞれの居室は臭いもなく、コールは適切な場所に置かれ不適切ケア（言動）は見たり・聞いたり、感じるようなことはありませんでした。

　居室前に感染症対応キットが置かれており、体調の悪い人の症状が感染に関連することを想定している対応でした。誰でもいつでも感染対策が取れるようにしていることが分かります。

コールの位置が見えない、届かないところに置かれているところは、「認知症の人でコールを押すことができない」「枕元におかれているものを引いたり、必要ではなく押したりする」「ターミナル期にある」など、職員の説明があり、適切であると判断しました。

時間的に頻回にコールがあり、職員は小走りに移動している時間帯もありましたが、その後は、静かで落ち着いた状況でした。

玄関の前、エレベーター前の空間、廊下の壁面のグリーンなどがあり、また、窓から見える木々はたくさんの葉を落として季節感溢れる彩を見せていました。入居者が自然の変化を感じることができる環境の素晴らしさは大きな財産です。

朝の起床は入居者に合わせゆっくり起床し、ユニットによって食事時間はそれぞれで、入居者の生活リズムに合わせて支援が行われていました。

本町の建物は 20 年超え、大幅修繕工事が行われており、2022 年 3 月までかかるとのことです。やむを得ないことではありますが、約半年の工事期間は長く、大変な労力と苦労を余儀なくされている状況下にありました。
コロナ感染防止の対応、さらに工事中で生活が規制されている状況においても職員は入居者の楽しみにつながるおうち時間の工夫として食事などの行事（案内が掲示）を行っていました。

入居者は居室の工事がある日は部屋で休むことができないなど、職員はストレスの軽減に配慮しながら支援していました。
コロナ感染対策、対応に加えて約半年に及ぶ工事中の不便さを切り抜こうと頑張っている姿に敬意を表したいと思います。